



S様ご家族と設計担当の蓮実

### 優建築工房 お宅訪問

# 一言芳思

一言芳思（いちさんぼうおん）：あの時、ひとこと声をかけていただいた感謝を忘れずに・・・

### 海老名市:S様邸 遊び心のある開放的な家で暮らして

「良い土地が見つかり次第、新築予定。ハウスメーカーなども回り勉強中です。構造や耐震、断熱材は何を使われているか知りたいので、カタログを送付願います」と資料請求を頂戴したのが平成18年。弊社の折込広告を奥様がご覧になり興味を持って頂きました。当時としては、建物より設計士の写真などを掲載したリフォーム会社にしては珍しい広告だった印象が残っていますとご主人。今回はお引き渡しから11年経ったS様にお話を伺って参りました。



地鎮祭:S様ご家族とスタッフ

地鎮祭の時の写真を見返すとご長男は2歳、ご長女はまだお腹のなかでした。10年以上のお付き合いになるとお子様の成長一番驚かされますが、何よりご家族がとても仲良く楽しく暮らされ、お付き合いが絶えず続いていることがとても嬉しいです。



外観は一見どこにでもありそうですが、けいそうモダンコート仕上げの外装に造作の玄関ドアと植栽のバランスは、写真では伝わり難いのですが和モダンな温かみのある雰囲気を醸し出し、どこかなく人目を惹きつけます。



外構の植栽トキワマンサクも成長してリビングのちょうど良い隠しになりました。バルコニーは目隠しと耐久性を考えアルミ材に板張りを施しています。



印象的な丸窓はご主人のご要望。壁も板も経年変化で程よく薪染み自然な風合いが魅力的です。

### 成長と共に変化する場



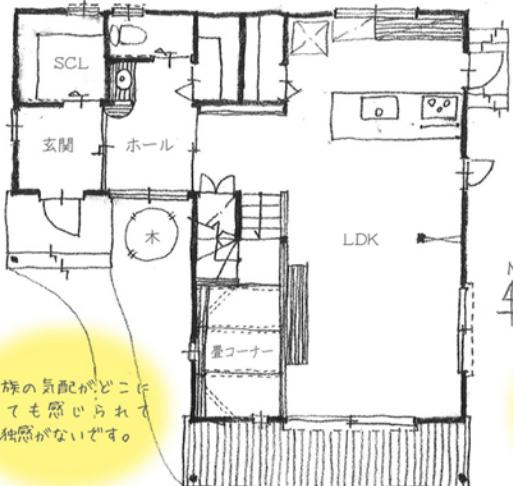
畳スペースと階段の踊り場をミックスした吹き抜け空間。この下は大規模な収納スペース。「子供が小さい頃は遊び場として本当に大活躍しました。今は懸垂などもできるジムのスペースや猫の居場所になったり、子供の成長に伴い多目的なスペースになっています。」と奥様。



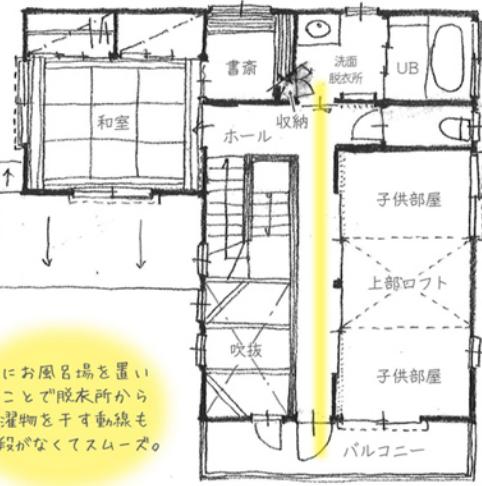
丸窓を中心に上の壁に本棚をDIYで増設されて、フォトフレームや工作の作品が融合して素敵なファミリーヒストリーの場になっていました。手摺には落下防止で木材の中にアイアンがセンスよく映えるワイヤーケーブルを最後に設置しています。



1階



2階



## 柱の役割

手形や柱の背くらべはお子様の成長の微笑ましい記録方法。この柱が家を支えるだけでなく、成長の記録としての役割も担っていて嬉しく感じました。



印鑑などを入れる玄関先でちょっと便利な  
造作家具。奥の扉は大容量のシューズクローゼット



階段周りは強化ガラスをはめ込み  
開放感はそのまま安全に



1Fのナチュラルテイストの造作洗面台



奥様お気に入りの使い勝手の良い  
2Fの造作洗面台



深めの軒に造作の玄関ドアは  
建物の顔となる意匠性と機能性も考慮



自慢のおうち

## 家族がのびのび暮らす家 「こんな家ちょっとないよね！」

天井が高く梁がある木の雰囲気と何かしら遊びのあるプランを依頼しました。ラフに自分で書いてみた間取りと二度目のプラン内容がほぼ同じで、吹き抜けと階段を取り込んだ畳スペースは丸窓を含め斬新で気に入りました。軒の深い家を見学していいな、と思いましたが、詳細打ち合わせ中は子供がやんちゃ盛りで子守りをしている間に、妻が日当たり優先で短い軒に決めてしまいました。暮らしてみて「浅めにしたけど、日当たり抜群な立地だから、急な雨のときなど深い軒なら洗濯物も濡れずに干しておけて便利だったな~」と、、やはり深い軒の良さに気づいたらしく…残念です(苦笑)。

工事中は現場の木の香りが凄く良く、行くのが楽しみでした。周辺の建売などが短期間でパンパン完工して行くので、ベースがゆっくりに感じましたが、見に行く度、それでいいと感じました。近所の建築関係と思われる方が通りすがりに「しっかりやっているね」と声をかけてくれたり、ウチに入った大工さんも現場を整理整頓されていて安心して任せられました。必要なことを手を抜かずやってもらい当たり前に掛かる工期なんだと納得できました。

今、だいぶ成長した子供達が「こんな家ちょっとないよね。この家が楽しいし、大好き。」と言ってくれるんですよ。嬉しいですよ。とご主人。



梁を表しに。優しい雰囲気を醸し出します。



子供部屋の間仕切りもそろそろ考え中。

まできちんと決められていて、その管理について、とやかく言う人達を対処する仕事に虚しさを感じてしまい、大工の仕事=男の現場という位置に戻りたくなり退職することにしました。その後、家業を手伝いつつ入っていた現場で、とても丁寧で良い仕事をするなあと尊敬できる大工さんに出会い、木造の家を造る大工になりたい！と思いました。まずは、大工の職業訓練校に行き、机上の基礎をみっちり勉強しました。卒業後、その人に弟子入りさせてもらい、そこで二年ほど働いたとき、もともと大工の基礎はあったので、「技術を習えたなら、独立しな。」と後押しされます。しかし、一人で独立するにも営業力がなく不安だったので、それを学ぼうとリフォーム会社で営業として3年勤務し、その後、営業経験と事務経験を活かして独立する決心がつき、会社を立ち上げました。

大工としてより良い施工方法があれば、住む人の安全と住みやすさが一番と言う信念で、ベストな方法をうるさいこと言うなと思われてもアドバイスするようにしています。図面や指示通りにやるのが一番簡単だと思うのですが、自分なりのサービス精神だと思っています。同じものを造らせても長持ちするものや安全なものなど、職人の腕により選りけりだと思うのです。だからお客様には自分の家の大工として、私が入ってもらって良かったと言ってもらえるような仕事を絶対にしたいと思ってます。」と千葉さん。真面目で細部にも気が利くうちの自慢の大工さんです。

休日は趣味のルアーフィッシングに行くのが楽しみです。家は逗子なので、そのうち海釣りにも挑戦してみようかと思っています。





今日は「窓の配置」のお話をします。

快適な住まいにするには、窓の配置はとっても重要です。周囲環境と季節で変動する日差しをよく読み、風が通る工夫を考えた窓計画が必要不可欠です。併せて、ガラスの種類も環境とプランニングにより使い分けるのが理想的です。(※準防火地域の「防火窓」は、防火機能を満たすために「断熱タイプ」のみの仕様となります。)

## 日射取得・遮へいについて

省エネルギーな住まいを造るには、冬は出来るだけ太陽熱を効果的に利用したいもの。窓から太陽光を室内に取り入れることが出来れば、床や壁の表面温度を暖かくしてくれ、そこからの「放射熱」と、直接触れた時の「伝導熱」により人は暖かさを感じますので、暖房の省エネ運転に繋がります。夏は強い日差しが室内に入らないように遮り、室温の上昇を防ぐことで冷房の省エネ運転に繋がります。まず大事なのは、周辺状況からその土地(建物)にどのように太陽光があたるのか?を知ることです。太陽の位置は、同じ時間でも季節によって全く異なります。軌跡上に遮る建物などがあるかないかで、自分がいる位置に太陽光が届くかどうかを把握することが大切です。



その土地の年間を通しての日射しをみるソフトで太陽角度と高度なども詳しく調査します。

**南側に隣家が迫り1階レベルで冬に充分な日差しが期待できない場合**

【有効なプラン計画】

- ・LDK(生活の中心となる場所)を日照条件の良くなる2階にする
- ・吹き抜けや天窓を設けて上部からの光を得られるようにする

冬の日差しが期待できない窓は、大きくしても暖かくなるどころか熱の逃げ場となってしまいます。採光とのバランスで大きさを考える必要があります。

【おススメのガラスタイル】

「LOW-E複層 断熱タイプ」

LOW-E金属膜が室内側ガラスになるため、熱が逃げにくくなります。

**日差し(直射)の取入れが出来る窓の場合**

【有効なプラン計画】

- ・太陽高度が高くなる南側は、屋根や庇を出して上からの日射を遮る
- ・太陽高度が低い西日に対しては、昔ながらの簾や外付けブライドで横からの日射を遮る

夏の日射を遮ることを忘れずに考えることが大事です。

基本は窓の外で対処する方法が最も効果的です。

【おススメのガラスタイル】

「LOW-E複層 断熱タイプ」

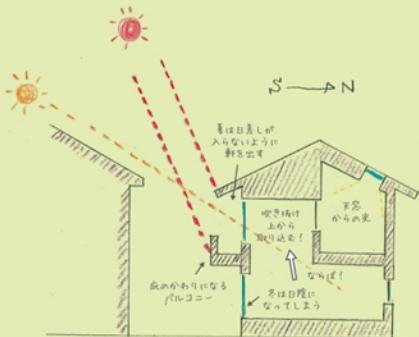
夏の日射遮蔽が出来る場合、冬の太陽熱は取り入れることができます。

**南側の窓上に屋根や庇などが十分に出せない敷地環境や、窓の外側で西日対策が難しい場合**

【おススメのガラスタイル】

「LOW-E複層 遮熱タイプ」

(非防火地域で選択可)  
室外側ガラスのLOW-E金属膜が、熱線を60%カットしてくれます。



のうこう  
こうじょう

うちの腕利きの職人さんを紹介



ひのき  
**大工 株式会社陽の木 代表：千葉 弘さん**

実際にお家を造り上げていく優建築工房の腕利きの職人さんをご紹介。今回は、大工の千葉さんをご紹介いたします。



「私の父は元は宮城県の気仙沼で船大工をやっていました。木造船の需要がなくなってきた頃、東京五輪の開催に向けて大工の需要が沢山あるということで東京の板橋に移り住むことになり、それからずっと東京でゼネコン系のビルやマンションの大工をしていました。そんな環境でしたので、ずっと大工仕事には慣れ親しんでいました。好きな家業を手伝いながら大学に通い、この先何をするか悩んだのですが、せっかくだから違う世界を見ておきたいと思い、電気工事系の会社へ入社しました。配属部署は総務部となり、大工の世界の仕事とはまったく別物で、細かな事務仕事や庶務的なことや経理系のことまで経験しました。比較的大きな規模でしたので、ポールペン1本の管理



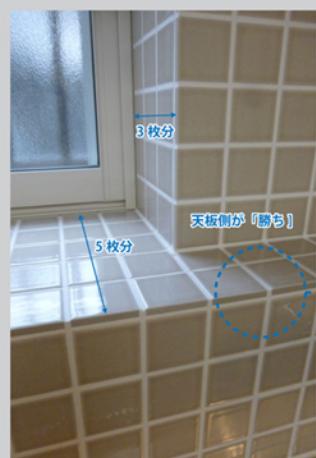
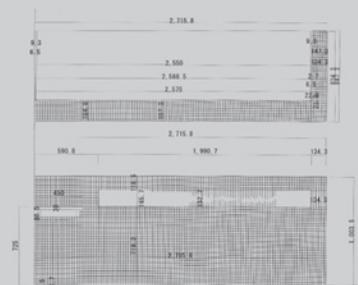
優建築工房ならではのディティールへの追求。流行に流されない、耐震・耐久・メンテナンス性に対する堅実的な施工方法。そして、同じ色や素材を使っても何かちょっと装いが違ってくる。その雰囲気の差、また価格の差の違い。そんな私達の根底にある設計・施工法の考え方をお伝えするコーナーです。

## 優建築工房のディティールの追求 ～タイル割り～

皆さんは『タイル割り』という言葉を聞いたことがありますか？建築業界独特の言葉ですが文字通りタイルの割り付けのことです。外壁や玄関、室内でも床や壁などに貼られるタイルには多くの種類があります。素材や質感、色、形なども豊富で、国産だけでなく輸入品もたくさん流通しています。タイルは木材や珪藻土など、自然素材との相性も良く、優建築工房では各所の仕上げ材として多く採用しています。

### タイルを貼るのは思うより難しい

実はタイルを思い通りに使うことは簡単ではありません。貼る作業自体に職人の技量が出るのはもちろん、仕上がりが美しく見えるかどうかは、施工前の設計計画と施工準備が大きく影響し、その作業が『タイル割り』です。下地作成段階で現場監督が綿密に計画を練り、ミリ単位で施工することで実現します。その時、タイルの寸法だけでなく、目地幅や厚さ、さらには接着剤などのタイルの貼りしろの寸法まで計算に入れているのです。新規に窓や開口を作る場合は、タイル割りに合わせて窓の寸法を調整する場合もあります。大きさや厚みがバラバラなタイルもあり、すべてのタイル施工個所がこのように納まるわけではありませんが、仕上がった時の見栄えと耐久性を詳細に検討して、経験と独特的ノウハウにより、タイルの割り付けを決めています。



### 美しさと耐久性のために

窓の間口にタイルサイズがピッタリなだけでなく、天板と下の壁との取り合いは天板側が被さっています。この被さっている側を「勝ち」と言います。

**正面が勝ちになる場合**  
  
目地が上面だと汚れが溜まりやすく、水も浸入しやすいので正面のタイル剥離の原因に。

**天板が勝ちになる場合**  
  
目地が上面にないと正面のタイルの裏に水が浸入しにくく、耐久性が高まる。

### 変形部分も美しく



斜めの範囲に、対角に二つ割りされたタイルがピッタリ4枚貼られています。これも下地段階のタイル割りが功を成しています。



## 優café

優caféは、ご来訪いただきお客様へのお茶のご提供の総称です



## PRESENT

ラバーウッドのハイツール5名様へプレゼント

ラバーウッド材の脚に座面は布材の優しい風合いのハイツールです。スリムなツールですが、足元に棚を設置してあるので、強度もしっかりしています。小物や雑誌を置くにも便利なスペースです。座面の色はグリーンです。



全高さ60センチ  
脚間奥行: 29センチ  
脚幅: 33センチ

### 【プレゼント応募】

①お名前 ②〒とご住所 ③電話番号 ④ご感想やご要望  
以上をご記入の上、メール・ハガキ・FAX・TELにてご応募ください。  
応募〆切 5/9(水) ご当選者へ発送をもってお知らせ致します。

メール nakamura@yukobo.jp メールの件名に「プレゼント応募」とご記入ください  
ハガキ 〒243-0815 厚木市妻田西 1-20-8 優建築工房  
yukoboletter プレゼント係  
FAX 046-294-4561 TEL ☎ 0120-873-312